

緑の担い手

現代に生きる 林業人として

笠間広域森林組合

山岸 拓 郎

私は、スキルアップのため、昨年、フォレストリーダー研修を受講し、コスト管理、工程管理、人材育成論、目標林型の設定や管理などを学びました。研修の中で、同じ立場の方や、私より経験豊富な方々との意見交換の際には新たな発見も多く、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

私は、笠間広域森林組合に就業して10年目となりますが、他県からの移住者である私を採用してくれた組合の皆様にはとても感謝しています。

就業当初、林業の事はほとんど解りませんでした。が、「緑の雇用」研修を通じて林業の基礎を学び、その後はOJT研修などで自らの技術力を高めてきました。

最近では、組合内で行う技術研修のうち、刈払機やチェーンソー作業の講師を任されることも多くなり、その際は、技術だけでなく、自分が大事にしている思いをつたないながらも伝えるようにしています。思っていることを言語化することで、自分でも再認識することができています。と感じています。

現在、「緑の雇用」研修に参加している人達は、様々な現場条件の中、慣れない仕事に戸惑うこともあると思いますが、同期の方とコミュニケーションをとりながら、切磋琢磨して頑張ってもらいたいです。

最後になりますが、研修で得られた経験や気づきを新たな力にして、周囲からも期待される林業人を目指し、日々精進していこうと思います。

